

様式 6

入札監視委員会定例会議議事概要（物品等）

| | | |
|-------------------------|--|------------------|
| 開催日及び場所 | 令和3年10月6日（水）本部事務機構第二会議室 | |
| 委員 （敬称略） | 委員長 山浦正井（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会会長） 委員 三輪佳久（弁護士） 委員 手島貴弘（公認会計士・税理士） | |
| 審議対象期間 | 平成31年 4月 1日 ～ 令和 3年 3月31日 | |
| 個別審議対象案件 | 令和元年度 3件／788件 | 令和2年度 4件／905件 |
| 一般競争入札方式 | 2件／545件 | 2件／641件 |
| 総合評価方式 | 1件／ 8件 | 0件／ 8件 |
| 最低価格方式 | 1件／537件 | 2件／633件 |
| 指名競争入札方式 | 件 | |
| 総合評価方式 | 件 | |
| 最低価格方式 | 件 | |
| 随意契約方式 | 1件／243件 | 2件／264件 |
| 企画競争 | 0件／ 15件 | 1件／ 22件 |
| 見積合せ | 0件／ 0件 | 1件／ 6件 |
| 競争性のない随意契約 | 1件／228件 | 0件／236件 |
| | 意見・質問 | 回 答 |
| 委員からの意見・質問 それに対する回答等 | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| 委員会による意見の具申 又は勧告の内容 | 特になし | |

（備考）
審議対象期間中、令和元年度は総契約件数788件から個別審議対象案件3件を、令和2年度は総契約件数905件から個別審議対象案件4件を抽出審議した。
回答は当該案件の担当者が行った。

別 紙

| 意見・質問 | 回 答 |
|---|--|
| <p>1. 個別審議対象案件の抽出について (担当委員から説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし | |
| <p>2. 個別審議対象案件の審議</p> <p><u>(1) 一般競争入札方式(総合評価落札方式)</u></p> <p>【医療材料物流管理システム運営業務一式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・契約概要 ・調達の対象となりうる業者 ・入札しなかった業者の理由 ・前回と比べ契約金額が下がった理由 ・業務の従事者数 | <ul style="list-style-type: none"> ・本業務は、医療材料の仕入れ・院内物流・定数管理を委託するとともに購入費用削減等についての提案を行わせるものである。 対象となる医療材料は、本学病院で使用する治療器具や手術用器具など約 22,700 件であり、より安価な同等品への切り替えを提案させることなどにより契約期間中、不断に経費削減を図っている。 ・本業務においては、緊急な診療の際に必要な医療材料を即納できる供給体制(在庫拠点等)を近隣に有することが必須である。市場調査の結果、想定される業者は契約相手方を含め2社であった。 ・説明書交付者7者の内訳は、①人材派遣業1者、②医薬品卸売業1者、③医療機器販売業1者、④医療食品販売業1者、⑤運送業1者、⑥院内物流管理業2者(契約相手方を含む)であった。 各者に確認したところ、①～⑤については本件に参入できる業者ではなく、参考までに入札説明書を受領したとのことである。 ⑥院内物流管理業2者のうち、応札しなかった1者については、他機関の受注と重なったため業務遂行が難しいと判断し、応札を見送ったとのことである。 ・医療材料の購入価格の削減を仕様に盛り込んだためである。 ・40名程度である。 |

別 紙

| 意 見 ・ 質 問 | 回 答 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 医療材料の供給体制を近隣に有することが必須としている理由 ・ 他機関での実績 <p>(2) 一般競争入札方式（最低価格落札方式）</p> <p>【東北大学職員研修所片平会館管理業務 一式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 調達概要 ・ 落札率が 100%となっている理由 ・ 稼働状況 ・ 管理人 2 名の業務内容 ・ 契約価格が低廉な理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急診療の際に使用する医療材料を即納して頂く必要があるためである。 ・ 県内他病院でも同様の委託を行っていると聞いている。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務は、東北大学職員研修所片平会館に管理人 2 名を配置し、利用者等への受付等対応、施設の維持管理及び清掃、火災及び緊急事態発生時の対応等に従事させるものである。 ・ 『物価資料』等を用いて算出した積算額（人件費等）と参考見積額を比較し、低廉な参考見積額を予定価格として採用したところ、最も低廉な入札価格が予定価格（参考見積額）と同額であったため、落札率 100%となったものである。 ・ 稼働率は半分程度であるが、昨年度はコロナ禍で宿泊の受け入れを中止している。また会議室等の利用もオンラインでの開催が多くなっているため稼働率は低下している。 ・ 従事時間（9:00～18:00、8:00～15:00）を仕様で定め、年末年始を除いて毎日受付、清掃、巡回等の業務を行っている。また清掃については、館内やチェックアウト後の宿泊室等を対象としている。 ・ 入札状況からわかるように、競争性が働いているためと思われる。 |

別 紙

| 意 見 ・ 質 問 | 回 答 |
|--|---|
| <p>【人事企画部における一般事務職派遣業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約概要 <p>・ R2 年度の他の人材派遣業務の落札率の状況を踏まえ、本件の落札率が 100%である理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 派遣を活用する理由 ・ 直接雇用と比較して割高になっていないか？ ・ 病院の医療事務も派遣か？ <p>【マテリアル・イノベーション・センター新営に伴う物品移設等業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約概要 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務は、人事企画部で育児休業を取得する職員の代替として、共済事務に係る事務補佐員相当の業務に従事する労働者を派遣するものである。 ・ 一般事務職派遣は官公庁・民間企業問わず広範な需要が見込め、県内にも多くの業者があるため、競争性が働き落札率 100%の件数は 17 件中 5 件となっている。 一方、研究開発職派遣は専ら研究機関のみを対象とし、東北地方においても業者が限られていること、さらには案件ごとに求められる専門知識や技術が多種多様であり、資格要件を満たす労働者を派遣できる業者が限られていることから、落札率 100%の件数は 39 件中 38 件となっている。 上記の傾向から、一般事務職派遣である本件は落札率 100%になりにくい調達に分類されると言えるが、本件では契約相手方が参考見積の段階から低廉な額を提示してきたため、結果として予定価格（参考見積額）＝落札額となり、落札率 100%となったものである。 ・ 育児休業を取得する職員の代替については、代替期間が 1 年程度と短いことから、派遣を活用する方針としている。 ・ 案件にもよるが、直接雇用時の福利厚生費等を加味すると一概に割高になっているわけではないと思われる。 ・ 医療事務についてはそれを専門とする業者がおり、当該業者への委託契約を行っている。 ・ 本業務は、令和 2 年 7 月に新青葉山キャンパスに竣工したマテリアルイノベーションセンターで研究活動を行うために必要な実験機器等を移設し、研究環境の再構築を行うものである。移設対象は、日本電子(株)製走査型電子顕微鏡などの実験装置 27 点及び関連する消耗品類である。 |

別 紙

| 意見・質問 | 回 答 |
|--|--|
| <p>・ 入札に参加しなかった理由</p> <p>・ 移設元は？</p> <p>・ 参加資格に実績等を求めているのか？</p> <p><u>(3) 随意契約方式（企画競争）</u></p> <p>【東北大学病院ウェブサイトリニューアル業務】</p> <p>・ 契約概要</p> <p>・ 評価結果</p> | <p>・ 説明書交付者 9 者の内訳は、①電機メーカー1 者、②防犯設備販売業 1 者、③リフォーム業 1 者、④人材派遣業 1 者、⑤引越業 3 者、⑥特殊設備移設業 2 者（契約相手方を含む）である。</p> <p>各者に確認したところ、①～④については本件に参加できる業者ではなく、参考までに入札説明書を受領したとのことである。</p> <p>⑤については、家具・什器を対象に業務を行っていることから理化学機器中心の本案件には対応が難しいと判断し、3 者とも応札を見送ったとのことである。</p> <p>⑥特殊設備移設業 2 者のうち、応札しなかった 1 者については、他の移設業務と実施時期が重なったため業務遂行が難しいと判断し、応札を見送ったとのことである。</p> <p>・ 多元物質科学研究所等である。</p> <p>・ 実績は求めているが、履行証明書を提出させることにより履行可能かどうかを本学で判断している。</p> <p>・ 東北大学病院ではウェブサイトにより運営や診療に関する情報発信を行っている。本業務はウェブサイトの更なるデザイン性の向上、更新・管理の効率化、スマートフォンやタブレット等での閲覧強化を行うために以下のリニューアルを委託するものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ウェブサイトの全体構成、デザインの見直し 2. 本学担当者が随時レイアウトやデザインを変更することが可能となるツールの導入 3. 本学担当者用更新マニュアルの作成 <p>・ 14 名の審査者が個別に採点を行い、提案者ごとに最高点及び最低点を除く獲得点数を合計し、その優劣をもって採択者を決定した。</p> <p>採択者 972 点 不採択 4 者 942 点、866 点、862 点、717 点</p> |

別 紙

| 意 見 ・ 質 問 | 回 答 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ リニューアル前ウェブサイトの契約者 ・ ワークライフ・バランス等の推進に係る評価とは？ <p><u>(3) 随意契約方式 (見積合せ)</u></p> <p>【超音波画像診断装置 一式】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約概要 ・ 見積合せを採用した理由 ・ 見積依頼する業者選定方法 ・ 契約件名に物品のメーカー名等が特に記載されていないが、指定はなかったのか？ ・ 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策事業に該当するのか？ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 25 年 7 月 1 日付で別業者と契約している。 ・ 本学では企画競争において必ずワークライフ・バランス等の推進を評価項目として設定している。これは内閣府男女共同参画局から女性活躍推進等に積極的に取り組んでいる参加者を評価する仕組みを取り入れるようにとの要請が来ているものであり、それを受けて取り組み状況を加算点として評価することとしている。 ・ 本調達は、新型コロナウイルス感染患者の治療のための装置を可及的速やかに調達するものである。本装置は感染患者の状態を把握するために必要な超音波検査、心電図、呼吸、血中酸素飽和度等を取得する装置である。 ・ 本件は国の新型コロナウイルス感染症対策事業に該当するものであり、当該事業については文部科学省より、各大学の判断により随意契約を行うことを妨げないとの連絡を受けていることから、見積合せ方式を採用し手続きを行った。 ・ 既存の手術重症病棟支援システム（日本光電工業(株)製）との接続連携が必須となるため、当該メーカーの販売代理店を選定した。 ・ 上記のとおり既存システムと同メーカー製品の調達が必要であったため、日本光電工業(株)製品を指定して調達手続きを行っている。 ・ そのとおりである。 |

別 紙

| 意 見 ・ 質 問 | 回 答 |
|--|--|
| <p>(3) 随意契約方式 (競争性のない随意契約)</p> <p>【頭部 MRI 撮像業務委託】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 契約概要 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務を行える唯一の機関 (業者) である具体的理由 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本業務は、過敏性腸症候群患者の不安症状に対する漢方の有効性に関する共同研究において、大学病院心療内科が保有している健常者脳画像 (以下「既存脳画像」という。) と比較するために用いる、同症候群患者 (以下「被験者」という。) の脳画像の撮像等を行うものである。 ・ 本業務を遂行するには、以下 1 と 2 の条件を満たすことが必須である。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 大学病院を受診している被験者が契約相手方に赴いて撮像を受けることとなるため、被験者にとって協力しやすい立地条件であること。 2. 補正作業を担当する技師が、画像比較による研究を遂行できるレベルの画像補正を行うための高度な知見と技術を有していること。 上記 1 と 2 の条件により、過去の委託契約において既に仙台星陵クリニックを選定しており、学術的な継続性を担保するために今回も同クリニックを選定したものである。 |